

農林中金イノベーションファンドを通じた株式会社農業情報設計社への出資について

農林中央金庫(代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」)は、農林中金イノベーションファンド(以下「本ファンド」)を通じて、農業用トラクターのGPSガイダンス技術を持つ株式会社農業情報設計社(代表取締役社長：濱田安之、以下「当社」)に出資しましたのでお知らせいたします。

○当社サービス概要

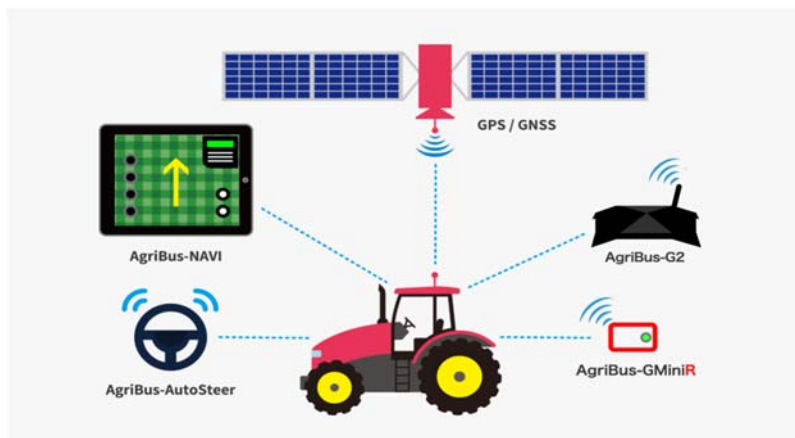
当社は世界で80万件以上ダウンロードされているトラクター運転支援アプリ「AgriBus-NAVI」や、高精度の位置情報を取得するためのGPS/GNSSレシーバーである「AgriBus-GMiniR」、既存の農業機械に後付けで自動操舵を可能にする「AgriBus-AutoSteer」等を提供するAgritechスタートアップ企業です。

圃場において正確な軌道でトラクターを運転することは熟練の技術を要します。トラクターの運転手は正確な現在地やどこまで作業をしたかがわからなくなってしまうと農薬散布や施肥等の作業重複や未実施部分が生じ、農薬の過剰散布や雑草や病害虫の発生を招いてしまいます。当社の一連の製品は、農業者に熟練技術がなくても正確に等間隔な作業を支援します。

○出資の背景

従来のGPS/GNSSガイダンス装置や自動操舵装置は、主に導入費用の課題から大規模圃場中心の普及にとどまっていた。当社は、ひとりでも多くの農家の方々へテクノロジーを届けたい、との理念から、中小型トラクター向けでも導入可能な低価格での製品提供を行っています。

本ファンドは、広くテクノロジーの恩恵普及を掲げ、農家の方々の収益改善や労働力の課題解決に取り組む当社の理念に共感し、今回の出資を実施しました。農林中央金庫は、2019年5月にJAグループが設立したオープンイノベーション組織・一般社団法人AgVenture Labのネットワーク等を活用しつつ、当社の事業展開を支援してまいります。



<農業情報設計社プロダクト「AgriBus シリーズ」>



農林中央金庫

○出資先について

会社名：株式会社農業情報設計社

所在地：北海道帯広市

設立：2014年04月

事業内容：GPS/GNSS や通信制御技術を活用し、トラクター等の農業機械の運転を支援するアプリや高精度 GPS/GNSS 装置、自動操舵機器を提供するなど高度で低コストな農業生産技術を提供

ホームページ：<https://agri-info-design.com/>

○農林中金イノベーションファンドについて

本ファンドは、デジタルイノベーションを通じた社会課題解決に取り組むスタートアップ企業の支援とオープンイノベーション促進を目的とするコーポレートベンチャーキャピタルファンドです。

登記上の名称	農林中金イノベーション投資事業有限責任組合 (Norinchukin Innovation Fund L.P.)
無限責任組合員	グローバル・ブレイン株式会社
有限責任組合員	農林中央金庫
投資対象	革新的な技術/ビジネスモデルを持つ、Agritech、Foodtech、Fintech、Lifetech、地方創生分野等の国内外スタートアップ企業

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 総務部広報企画班（大谷、後藤）TEL:03-5222-2017